

令和7年6月20日
文教・福祉常任委員会資料
教育部生涯学習課

令和6年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、
別紙のとおり報告いたします。

令和6年度 事業報告書

令和7年5月30日

施設名	宇治市総合野外活動センター
団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表者名	代表理事 杉本 厚夫
指定管理期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日（5年間）

（1）業務実施状況報告（令和6年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】

当法人は令和4年度からの5年間、指定管理者として宇治市総合野外活動センター運営を受託している。

お客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

- 豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。
- 自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。
- 地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より導入された利用料金制度を自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたテントエリアの拡大や予約不要工作イベントの開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や利用申請手続きの見直し等、必要経費の削減にも努めてきた。令和6年度は開設25周年にあたり、年間を通して25周年記念をアピールした広報活動や、オートキャンプ等の指定管理業務外の事業拡大にも取り組み、収益力強化に注力した。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売等、必要に応じて協議の場を設けた。

宿泊利用者数は前年同数程度、日帰り利用者数はグラウンド・ゴルフ利用の増加や日帰りオートキャンプサイトの新設もあり、前年比約 12%増となった。年間利用者数は 96,868 人と前年より約 8%増加し、コロナ前の水準に回復した。

最終的な利用料金収入は約 3,469 万円（当初予算比マイナス約 229 万円、前年比プラス約 73 万円）となった。

社会情勢の影響により電気料金が予算額より大幅に値上がりしており、当初予算比で約 350 万円の支出増となった。光熱費の高騰や食堂工事にかかる休業補償、最低賃金上昇による人件費の負担増が収支に大きな影響を与えることになったため、宇治市とのリスク分担協議の結果、令和 6 年度は指定管理料を約 530 万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】

誰もが公平・平等に施設を利用し、自然の中で野外活動を体験できるようユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設運営を行うとともに、関係法令及び宇治市の関係例規を遵守し、施設の公平、平等利用に努めた。

- ・ 多目的トイレに洗浄機能付き便座を設置した。
- ・ 小さなお子様や車いすをご利用の方にも身近にグラウンド・ゴルフを楽しんでいただけるよう、子ども用クラブ、車いす用クラブの利用を案内し、幅広い利用を促進した。
- ・ 施設内の移動が困難なお客様には車いすの貸出しや、車両での施設内送迎を行った。
- ・ 障がいがあるお客様や体の不自由なお客様、アレルギーをお持ちのお客様等がより快適に食事、宿泊、体験活動などを行えるよう、予約の段階からご要望の聞き取りや打合せを行い、安心してご利用いただけるように努めた。
- ・ 予約不要、参加無料で誰でもご参加いただける事業を定期的で開催し、施設をより多くの方にご利用いただき、野外活動に親しんでいただく機会を提供した。

【利用拡大の取組結果について】

[6 年度の取組]

- ・ ボーイスカウト団体向けの「自然体験」パンフレットを作成配布した。
- ・ 北の広場を新たに日帰りオートキャンプ場として整備し、日帰りオートキャンププランの提供を開始した。
- ・ 「森と星キャンプ」で夏季対応を開始し、季節に応じて設備を更新した。
- ・ 食事提供のバリエーション拡大をはかるため、イベントにあわせてキッチンカー出店を招致した。
- ・ 施設内を巡るクイズラリーを実施し、PR につなげた。
- ・ 利用の少ない冬季の宿泊室日帰り利用プラン、研修室をコワーキングスペースとして提供

するワーケーションプランを提供した。

- ・ 公衆浴場営業許可を取得し、大浴場の日帰り入浴サービスを提供した。
- ・ 宇治市植物公園でのイベントに出店し、工作プログラムを提供した。
- ・ 東宇治地域福祉センターでそば打ち教室を実施した。
- ・ 京都府職業能力開発協会の協力で、ものづくりマイスターの指導による、「タイルコースターづくり」イベントを実施した。

[継続的な取組]

1. 屋内施設においては、清潔な空間を維持できるよう施設管理を行った。
 - ・ 施設の各所に季節ごとの自然の草花等を配置し、清楚感を取り入れ日々の清掃にも注意を払った。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後も安心してご利用いただけるよう、感染症の予防対策に取り組んだ。(消毒液の設置、入所時の検温確認等)。
 - ・ イベント開催にあたっては、状況に合わせて定員数や実施回数、内容の調整等、感染予防対策を徹底した上で実施した。
2. 屋外施設については、自然環境を大切にし、自然と一体となった施設管理を行った。
3. 施設を有効に活用した事業ならびに自然やふるさとを体験できる事業を開催した。
 - ・ 「お茶つみ体験」「ふるさとを味わおう!」「星空とホタル観察」等の事業を実施した。
4. 申込不要で気軽に参加できる事業、ならびに利用の減少する冬期の集客を目指した事業を開催した。
 - ・ 夏休み期間(金土日)にも「わいわいホリデー」を開催し気軽に参加できるイベントや大浴場の日帰り入浴を提供した。
 - ・ 無料で天体望遠鏡での星空観察ができる「星空オープンデー」を開催した。
 - ・ 冬季の利用促進対策として「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」を実施した。
 - ・ 「春まつり」「秋まつり」「アクトパルであそぼう」等の無料イベントで施設のPRを図った。
5. 農業や自然等、笠取地域の特色を生かした事業を開催し、地域の魅力を体験してもらうとともに地域住民との交流の機会を設けた。
 - ・ 「お茶つみ体験」「ふるさと体験(稲刈り、しいたけ菌打ち、餅つき体験)」「じゃがいも掘り」「さつまいも掘り」「ふるさとハイキング」等を企画した。
6. 宇治市総合野外活動センター主催のグラウンド・ゴルフ大会を月例で開催した。
7. 様々な利用形態の受け入れ
 - ・ 宇治を舞台にしたアニメ「響け! ユーフォニアム」の影響で来場される方向けに、案内ポスター等を設置した。
 - ・ ドローン講習会の会場として広場の使用を許可した。
 - ・ 結婚式、披露宴の会場として施設をご利用いただけるよう調整・案内した。
 - ・ 宇治市立図書館と連携し、予約図書受取所としてアクトパル宇治配本所サービスを提供し

た。

- ・宇治市内公民館でのイベントに出店し、施設外で工作プログラムを提供した。

【利用料金収入の結果について】

宿泊利用が前年並みで推移した一方、日帰り利用ではグラウンド・ゴルフ場の利用増もあり、最終的な利用料金収入は約 3,469 万円（当初予算比マイナス約 229 万円、前年比プラス約 73 万円）となった。

[利用料金収入]

令和 4 年度 約 2,640 万円

令和 5 年度 約 3,395 万円

令和 6 年度 約 3,469 万円

【自主事業に関する取組結果について】

1. 食堂・売店運営を笠取ファームに委託し地元特産物の販売や PR を行った。
 - ・食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。
 - ・「春まつり」「秋まつり」「新春笠取市」等で野菜や特産物の販売を実施した。
 - ・食堂メニューとして「天井」「豚丼」を販売した。
 - ・鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。
2. 宇治市内公民館、宇治市植物公園等で出張教室を実施し、工作プログラムを提供するとともに施設の PR を図った。
3. 北の広場を新たに日帰りオートキャンプ場として整備し、日帰りオートキャンププランの提供を開始した。
4. 「森と星キャンプ」で夏季対応を開始し、季節に応じて設備を更新した。
5. 有料貸出物品の拡充を図った。（焚火台、ハンモック等）
6. 食事提供のバリエーション拡大をはかるため、イベントにあわせてキッチンカー出店を招致した。
7. 施設内を巡るクイズラリーを実施し、PR につなげた。
8. 利用の少ない冬季の宿泊室日帰り利用プラン、研修室をコワーキングスペースとして提供するワーケーションプランを提供した。
9. 公衆浴場営業許可を取得し、大浴場の日帰り入浴サービスを提供した。

【情報発信の取組結果について】

1. 宇治市「市政だより」へのイベント開催予定の掲載をした。
2. 新聞各社へ自主事業等の掲載を依頼した。
3. FM うじ「宇治市探検」でイベント、施設紹介をした。

4. 宇治市総合野外活動センターのホームページにより、宿泊等予約情報やイベント情報案内の配信をした。
5. メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。(イベント参加者に対する次回イベントの通知) 令和7年3月現在登録者数約3,400人
6. 雑誌等の取材に積極的に協力し、『まっふる』『ファミリーウォーカー』『じゃらん』『クルール』『ワイヤーママ』『Leaf』『Living 京都』等に施設紹介記事が掲載された。
7. 「観光宇治」(宇治市観光協会発行)にイベント情報を掲載した。
8. SNS (Facebook、Instagram、X) を毎日更新し、施設のトピックやイベント情報等の発信を行った。(令和7年3月末現在 Instagram 1,435人、X 1,120人、Facebook 643人) また、新たにLINE ページを開設し情報を発信した。
9. テレビ番組取材に協力し、施設をPRした。
10. ホームページ上で、施設予約状況を公開した。
11. Web 情報サイト (号外ネット、ALCO、きょうとくらす) に情報提供しイベント情報を掲載いただいた。
12. 近隣のアウトドアショップ等にご協力いただき、店頭で施設パンフレットやイベントチラシを配架した。

【管理運営体制等について】

[職員体制]

1. 財団事務局長	1人
2. 財団事務局長次長	1人
3. 財団職員	2人
4. 財団嘱託 (常勤)	6人
5. 財団管理嘱託 (宿直)	4人
6. 臨時職員	7人

[職員研修計画と実施状況]

1. 職員研修の実施

- ・ アウトドアイノベーションサミット、キャンプイノベーションサミット
- ・ 公益法人向けセミナー (経理、法改正対応)
- ・ 接遇、マネジメント、DX 研修
- ・ キャンプ指導者スキルアップ研修
- ・ 日常研修 : 毎朝のミーティング時に実施

2. 職員取得資格

・危険物取扱者免状	3人
・甲種防火管理講習修了証保有者	2人
・学芸員資格	1人
・保育士資格	1人

【地域との連携、市民参画の結果について】

1. 地域：地域との交流、連携、貢献を大切にし、地域振興の拠点となるよう努めた。
 - ・「秋まつり」「笠取市」等のイベントで「地元農家」「笠取小学校」に協力を仰ぎ、出店・展示していただいた。
2. 関係機関：市内の小中学校ならびに幼稚園、保育所との連携に努めた。
 - ・市内各小学校の「林間学習」を効率よく実施するため、代表校と日程の調整や合同説明会を実施した。
 - ・笠取小学校の授業や自然観察活動の一環で、施設をご利用いただき、またイベント開催にも協力いただいた。
 - ・山城教育局の「やましろ未来っ子サイエンスラリー」に協力し、自然観察イベントで連携した。
3. 団体：（有）笠取ファームと連携し、地域の活性化に努めた。
 - ・（有）笠取ファームに、宇治市総合野外活動センターの植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。また、食堂においては冬季限定の「笠取鍋」や一人用鍋で「鍋焼きうどん」「釜めし」を提供した。
 - ・食堂では地元産の米を使用し、売店でも地元産の米や野菜、果物の販売を行った。その他、不定期で「笠取市」を開催し、笠取の魅力発信につなげた。
 - ・アクトパル宇治の食堂の衛生管理が評価され、（有）笠取ファームが京都府食品衛生協会より優良施設として表彰された。
4. 登録団体等：ボランティア団体等の活動を支援し、宇治市総合野外活動センターの特性をアピールした。
 - ・天体観察プログラムを天文ボランティアと協力し実施した。
 - ・「宇治市野外活動協会」との協働によるキャンプイベント「親子 de キャンプ」を開催した。
5. 団体その他
 - ・eco ット宇治の活動に賛同し、「春まつり」、「秋まつり」に出展いただいた。
 - ・eco ット宇治と共同で、雑木林の再生をめざした「どんぐりプロジェクト」を実施した。
 - ・アルペンアウトドアーズ宇治店と相互集客に向け提携を結んだ。
 - ・京都府職業能力開発協会の協力で、ものづくりマイスターの指導による、「タイルコースターづくり」イベントを実施した。
 - ・市内福祉施設に委託し、25周年記念の焼菓子を作成、配布した。

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

1. トラブル対応

お客様の安全を第一に考え、接客、施設管理に努め、注意事項の喚起、施設保全を図った。

- ・施設内にできたスズメバチの巣を駆除した。
- ・安全管理のため、要修繕箇所について、適宜修繕を行った。

2. 防犯対策

- ・職員の防犯に対する意識の向上に努めるとともに、夜間の施設内出入りについては極力無
いようお客さまに協力をお願いした。
- ・玄関、受付等に防犯カメラを設置し、モニター監視した。

3. 防災対策

- ・台風の接近時には、施設の安全点検や倒木撤去作業を行った。
- ・宇治東消防署の査察を受け、防火対策の確認を行った。
- ・日頃の点検を重視し、非常時に備え「災害対策体制」の確認を行った。
- ・火災を想定した自衛消防訓練を実施した。
- ・アスレチック遊具の安全点検を実施した。(年1回実施)
- ・防火設備法定点検を実施し、不良箇所の修繕を行った。(年2回実施)
- ・熱中症予防にチラシ配布や放送での呼びかけ、温湿度計の設置を行った。
- ・高温注意情報、光化学スモッグ、食中毒注意報発令時に、放送やチラシで注意喚起した。
- ・新型コロナウイルス感染症に備え、5類移行後も施設各所に消毒用アルコール、体温計の設
置を継続した。

【利用者要望の把握状況及び実施策について】

1. 日常の接客にあたり、会話を重視し、お客様の「声」を積極的に聴取した。

- ・宿泊退室時「ご利用に関するアンケート」に、意見を記入してもらい、参考にした。
- ・食堂メニューの改善要望に対して、(有) 笠取ファームとの協議を行った。
- ・現金以外の支払い方法に対応するため、令和4年度からクレジットカード、電子マネー等
が利用可能なキャッシュレス決済を導入しており、キャッシュレス決済利用率は約29%と
なっている。
- ・令和4年度からグラウンド・ゴルフ愛好者に向けお得な利用回数券を販売している。

2. 各種事業の実施後、アンケートを実施し、お客様の声を事業に反映した。

- ・WEBアンケートを導入し、回答・集計の効率化を図っている。

【サービス向上取組内容について】

- ・宇治市とも協議の上、施設の予約申請手続きの一部を簡便化し、お客様の手続き負担や郵
便料金、事務作業の軽減を図った。

- ・現金以外の支払い方法に対応するため決済システム（Air ペイ）を導入し、各種クレジットカード、電子マネー、QR で支払えるようになり、お客様の利便性に加えて、現金徴収、精算事務の短縮等の管理業務の効率が向上した。あわせてレジアプリも導入し受付事務の効率化を図った。また利用可能な決済事業者を追加し、より利便性を高めた。
- ・予約不要の工作体験プログラム「つくってあそぼう！」「工作棟オープンデー」を実施した。
- ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようリモート会議の設備を整えた。夏休み期間には「ワーケーションプラン」も販売した。
- ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携し図書配本サービスを提供し地域サービス向上に貢献した。
- ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として管理棟ホール図書コーナーを子ども読書コーナー「えほんの森」スペースとして整備しており、京都府の「豊かな森を育てる交付金事業」を活用したキッズハウスや絵本棚、子どもベンチ等を配置する等、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

1. 経常経費の縮減について

- ・こまめに電気を切り、お客様に対してもポスター等で節電・節水を呼びかけるなど、光熱水費の縮減に努めた。
- ・電話通話料割引サービスに加入し、通信コストの削減に努めた。
- ・電気料金が社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約 350 万円の増額となった。
- ・緑のカーテン（ゴーヤ）を設置し、クーラー利用の縮減に努めた。
- ・各種契約の内容や回数の見直しにより経費を縮減した。
- ・令和 4 年度に人員構成の見直しを行い、約 370 万円の経費削減を継続した。
- ・施設利用予約手続きの簡便化を図り、郵便コストを縮減した。

2. 低コストの追求について

- ・利用頻度を考慮して、貸出備品を見直し、内容を整理して、維持コストの削減・作業の効率化を図った。
- ・値動き幅の大きい灯油は、2 か月ごとの契約更新とし、価格変動に対応した。

【個人情報保護措置と実施状況について】

個人情報保護法に基づき適切に対応している。

- ・収集した個人情報については規則に基づき厳重に管理した。
- ・イベント申込等でお客様の個人情報を web 上で送信いただく際には S S L（Secure Socket Layer）を利用し暗号化した上で送受信した。（セキュリティー対策）

・ イベント案内や施設の最新情報を発信するメールインフォメーション送信時は、個人情報漏洩防止のため、専用メールリングソフトを使用した。

【情報公開対応と実施状況について】

令和6年度においては情報公開請求なし。

【その他】

特になし

(2) 施設利用状況報告（令和6年度）

【施設利用状況】 1. 入館（場）者数

宿泊利用者は前年同数程度、日帰り利用者はグラウンド・ゴルフ利用の増加や日帰りオートキャンプサイトの新設もあり、前年比約12%増となった。年間利用者数は96,868人と前年度約8%増加し、コロナ前の水準に回復した。

令和6年度 利用者数

（単位：人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
宿泊利用	24,655	30,450	30,335
日帰り利用	53,194	59,641	66,533
合計	77,849	90,091	96,868

【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和6年度 施設別利用者数

（単位：人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
宿泊施設	管理棟宿泊室	1,954	2,128	2,264
	宿泊棟宿泊室	18,061	23,888	23,006
	テント （フリーテントサイト日帰り利用者含む）	3,728	3,358	4,321
	山の家	1,298	1,405	1,421
	合計	25,041	30,779	31,012
その他施設	研修室	7,422	9,624	7,754
	体育館	15,225	18,208	16,141
	天体観察室	2,250	3,374	3,378
	工作棟	9,906	9,440	8,886
	野外炊事棟	20,918	23,578	25,122
	グラウンド・ゴルフ場	5,480	5,488	7,417
	合計	61,201	69,712	68,698

(3) 管理経費収支報告 (令和6年度)

(単位：千円)

施設名		宇治市総合野外活動センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	109,173	114,468		
	利用料金収入	37,552	34,686		
	その他	6,352	6,090	工作・体験事業 収入 他	
収入合計 (A)		153,077	155,244		
支出	人件費	80,189	78,426		最低賃金上昇による増
	事務費	9,151	8,779	租税公課 8,022	
				その他 757	
	管理費	59,491	62,420	修繕料 3,327	光熱費高騰による増
				光熱水費 14,739	
				燃料費 1,811	
				委託料 34,288	
賃借料 4,759					
その他 3,496					
事業費	4,246	5,282	ボランティア報償費 1,307		
			事業材料費等 3,975		
その他					
支出合計 (B)		153,077	154,907		
収支 (A) - (B)		0	337		

実績における市からの委託料 (114,468 千円) は、最低賃金の上昇による影響分、光熱費の高騰等に対してリスク分担に基づき、委託料を増額して対応を行った後の金額

(4) - 1 事業実施状況報告（令和6年度）

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特になし		

(4) - 2 事業収支状況報告 (令和6年度)

団体名 公益財団法人宇治市野外活動センター

(単位：千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり 参加費	収支 (A) - (B)	収入		支出 (B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝金	材料費 等	その他
特になし							
計							

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること